

11 更衣室及びシャワー室

■基本的な考え方■

車いすでも利用できる十分な広さを確保するとともに、高齢者や身体障害者等に使いやすいように整備する。

整備基準	目標となる指針
<p>11 更衣室及びシャワー室(以下この項において「更衣室等」という。)</p> <p>更衣室等を設ける場合(居室又は客室の内部に設ける場合を除く。.)においては、次に定める構造の更衣室等を1以上(男子用及び女子用の区分があるときは、それぞれ1以上)設けること。</p> <p>(1) 車いす使用者が円滑に利用することができるよう十分な床面積が確保され、かつ、腰掛け台、手すりその他の設備が適切に配置されている更衣及びシャワーを利用するための区画(以下この項において「車いす使用者対応更衣区画等」という。)が設けられていること。</p> <p>(2) 車いす使用者対応更衣区画等の出入口の幅は、内のりを80センチメートル以上とすること。</p> <p>(3) 車いす使用者対応更衣区画等の出入口には、車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けないこと。</p> <p>(4) 車いす使用者対応更衣区画等及び当該車いす使用者対応更衣区画等のある更衣室等の床の表面は、滑りにくい材料で仕上げること。</p>	<p>11 更衣室及びシャワー室(以下この項において「更衣室等」という。)</p> <p>不特定かつ多数の者が利用する更衣室等を設ける場合(居室又は客室の内部に設ける場合を除く。.)においては、次に定める構造の更衣室等を設けること。</p> <p>(1) 車いす使用者対応更衣区画等(規則別表第2イの表〔建築物〕11の項〔更衣室及びシャワー室〕(1)に定める構造のものをいう。以下同じ。)が、更衣区画等の総数が200以下の場合にあってはその総数に50分の1を乗じて得た数以上、更衣区画等の総数が200を超える場合にあってはその総数に100分の1を乗じて得た数に2を加えた数以上設けられていること。ただし、男子用及び女子用の区分のある車いす使用者対応更衣区画等を設ける場合においては、これらの車いす使用者対応更衣区画等の数は、男子用又は女子用の更衣区画等の総数によりそれぞれ算定した数以上とする。</p> <p>(2) 車いす使用者対応更衣区画等の出入口の幅は、内のりを90センチメートル以上とすること。</p> <p>(3) 車いす使用者対応更衣区画等の出入口には、車いす使用者が通過する際に支障となる段を設けないこと。</p> <p>(4) 水栓器具は、身体障害者等が円滑に操作できる構造とすること。</p> <p>(5) 非常通報装置は、身体障害者等が円滑に操作できる構造とするよう努めること。</p> <p>(6) 車いす使用者対応更衣区画等及び当該車いす使用者対応更衣区画等のある更衣室等の表面は、滑りにくい材料で仕上げること。</p>

整備基準の解説

- 整備の対象  
更衣室等を設ける場合には、一以上の車いす使用者対応更衣区画等を設ける。

項 目	解 説
(2)幅	○車いす使用者対応更衣区画等の出入口の内のり幅80cmは、車いすが通過できる寸法。なお、廊下に面した出入口は1の項〔出入口〕の各室の出入口となり、内のり幅90cm以上が必要。

目標となる指針の解説

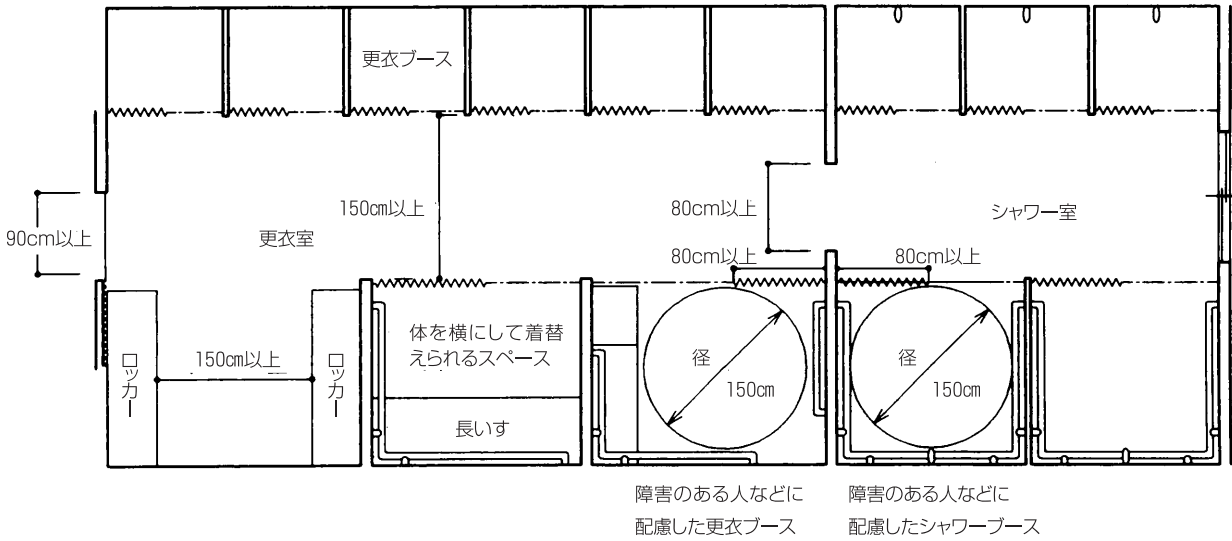
- 整備の対象  
不特定かつ多数の者が利用する更衣室等を設ける場合には、更衣室等の区画の総数に応じた車いす使用者対応更衣区画等を設ける。  
更衣区画等の総数が200以下の場合:総数×1/50以上を車いす使用者対応更衣区画等とする。  
更衣区画等の総数が200を超える場合:総数×1/100+2以上を車いす使用者対応更衣区画等とする。

項 目	解 説
(2)幅	○車いす使用者対応更衣区画等の出入口の内のり幅90cmは、車いすで通過しやすい寸法。
(5)非常通報装置	○ループやひもなどで円滑に操作できる装置を手の届く位置に設置する。

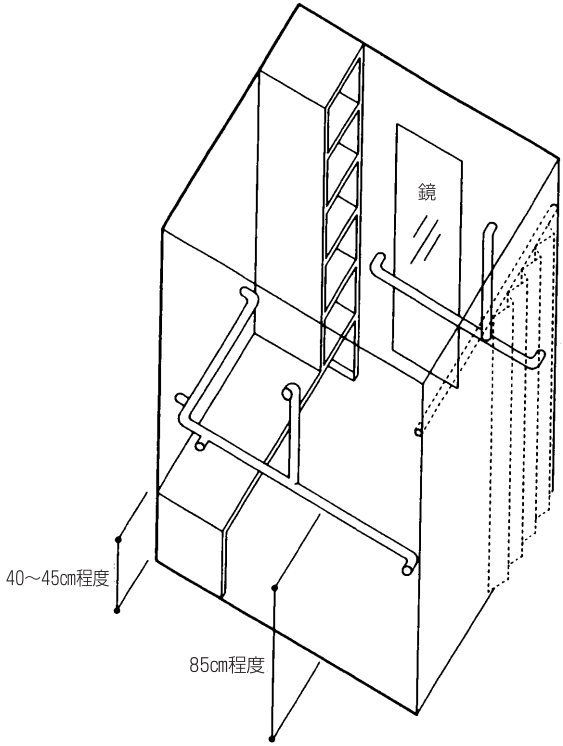
配慮事項

項 目	解 説
(1)出入口	○出入口前後に車いす使用者が直進でき、方向を転回できる空間(140cm角程度)を設ける。 ○扉等にガラスを使用する場合、転倒等による事故防止を考慮し、安全ガラス等を用いる。
(1)腰掛け台	○着替えの際には、ベンチなどの上に横になる必要のある場合もあるため設置する。 高さ:40～45cm程度、幅:180cm程度以上、奥行き:45cm程度以上とする。 ⇨図1 参照 ○上体の寄り掛かるヘッドボードをつける。 ○表面はクッション材付とする。 ○必要に応じ、上部にぶら下がり用の吊り輪又は壁面にたて手すりを設ける。
(1)手すり	○水平及び垂直に取り付ける。
(1)水栓	○座ったまま届く位置に設ける。 ○レバー式等操作しやすいものとする。 ○混合操作を容易にするため、サーモスタット(自動温度調節器)の付いたシングルレバー式とする。 ○冷温水の区分等を点字で表示する。 ○シャワーは原則としてハンドシャワーとし、シャワーヘッドは昇降可能なものが、上下2か所の使いやすい位置にヘッド掛けを設ける。
(1)収納棚	○車いすでの使用に適する高さ及び位置とする。 下端:30cm程度、上端:150cm程度、奥行き:60cm程度とし、下部には車いすのフットレストが入るようにクリアランスをとる。

更衣室・シャワー室の設置例



更衣ブースの例 (図1)



シャワーブースの例

